【News Release】

報道関係各位

令和 8 年 11 月 27 日
一般財団法人　沖縄美ら島財団

# （一財）沖縄美ら島財団総合研究所が読売新聞主催「あをによし賞」を受賞

一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究所が、令和 8 年 11 月 3 日(火)に大阪市内で開かれた「第 20 回読売あをによし賞　保存・修復部門を受賞いたしました。




琉球文化財研究室（幸喜淳）




授賞式

**■　概要**

【受賞者】一般財団法人沖縄美ら島財団　総合研究所

【授賞内容】

「消失した首里城正殿再建に使用する沖縄産弁柄の復元」

これまでに特定できなかった首里城正殿に使用された赤色顔料である「久志間切弁柄」の原材料を約 20 年かけて突きとめ、その生産に成功し、この度の正殿再建に使用し、本来の赤色を蘇らせた。その活動が高く評価されました。

**■　読売新聞「あをによし賞」について**

あをによし賞とは、文化遺産を未来に繋ぐ意義を広く伝えるため、文化遺産を守り伝える個人・団体を顕彰し、文化財の「保存・修復」と伝統文化の「継承・発展」の 2 分野で功績があった方に贈呈される賞です。

これまで 20 回開催され、40 組が受賞しており、沖縄県では、沖縄県宜野湾市の「NPO 沖縄伝承話支援センター」が受賞しております。

**<u>一般財団法人沖縄美ら島財団　総合研究所について</u>**

亜熱帯性動植物や沖縄の歴史・文化に関する調査研究、
技術開発、普及啓発を担う研究拠点です。蓄積した知見をもとに、環境保全や資源の持続的利用に関する調査研究を推進し、国内外との連携を通じて成果の社会還元と地域の持続可能性向上に貢献している研究所です。

＜お問い合わせ＞　一般財団法人　沖縄美ら島財団　調査企画広報課
TEL：0980-48-3649　FAX：0980-48-3085
E-Mail：oki-pr@okichura.jp